

学習指導略案

- 1.学 年 第2学年
- 2.教 材 名 「ウミガメものがたり」(鈴木まもる著・童心社)
【自然の大切さ】 D (19) 自然愛護
- 3.ね ら い 絵本の読み聞かせを聞き、ウミガメになってみて考えることを通して自然やそこに生きる動植物を大切に、環境保全について関心をもとうとする心情を育てる。
- 4.本 時 の 目 標 動植物に関心を持ち、環境保全につとめる人々の心情を考える。

5. 本時の展開

	学習活動	指導の内容と予想される反応	指導上の留意点	場の設定と評価
導 入	俳優の紹介 絵本の読み聞かせ	今日は「ウミガメものがたり」を読みます。(絵本の表紙が画面に映し出される) 今日は、ただ聞くだけじゃなくて、みんなも絵本に出てくるカメに成り切って、考えたり、思ったりしたことを発表してもらいます。 今日は、みんなと一緒にカメになって、考えたり、思ったりしたことを言ってもらおう〇〇さんにZoomで参加してもらいます。みんなで、呼んでみようか。 「こんにちは。〇〇って言います。よろしくね。今日は、Zoomで、みんなと絵本を楽しみたいと思います。じゃあ、後でね。」	いつも通りの雰囲気始める。	【俳優という設定】 俳優と一緒に読み進めることで絵本の理解を助ける。 楽しい雰囲気で見進める。
展 開 前 段	ウミガメについて知り、子ガメになってみる。	ウミガメって、みんな見たことある？ これくらい大きいです。 重さは、100kgくらいって言うから、みんなの3人分くらいかな？ 産卵の様子まで読み聞かせる。 「ん、ん。よっしゃあ、やっと出れたぞ。おーい、みんな無事、卵から出れたかあ！おれ、子ガメの〇〇！」 「おーい、△△(※先生)・・・無事卵から出られたら『カメカメ〜』って返事し	事前に作っておいた1mのウミガメを見せる 子ガメになりきった俳優が進行する。子どもたちに考えを聞いたり	【ウミガメの大きさを知る】

		てー?」 卵からかえった子ガメが危険を乗り越え海に行くまでをみんなで演じる。	動作化したりする場面を作る。教師は、劇団員の進行にそって、絵本の内容を紹介していく。	
展開中段	海での生活、長い旅の様子を演じる。	海の中でのウミガメの食べるもの、遭遇する危険などを演じる。 『こうして 子ガメは くろしおという ながれに のって、2年くらいかかって 日本から 10,000キロもはなれた カリフォルニアの 海まで行くのです。そこには エビや カニなど 食べられるものが たくさんすんでいるからです。』 海にどんな生き物がいるか、隣同士で話し合う。1分ぐらい海の中の生き物になって机の前で泳いでみて、海の中の様子を想像する。	海の中の生き物とウミガメの関係について想像できるようにする。危険だけでなく、海の多様性に目が向くように楽しい場づくりをする。	ウミガメが長い旅をすること、海の中にも様々な生き物と関係しあいながら生きていくことを知る。
展開後半	人間によってウミガメが危険にさらされることを知る。	「うみにはいろいろな生き物がいて、友だちもいれば、危険な生き物もいます。だけどうみには他にも危険がいっぱいあります。それは人間が原因のものもありますが、どんな危険があると思いますか？隣同士で話し合ってみましょう。」 人間がすてたビニールやペットボトルを誤食したり、網に引っかかったりするウミガメがいることを知る。 ニュースで見たことがある、海にゴミが捨てられているのを見たことがある、など経験を話し合う。 『りょうしさんたちは、むかしからカメをたいせつにしているので、そんなカメをみつけると たすけてあげます』	海のごみの問題、その問題に取り組んでいる人がいることを絵本を通して紹介する。	【人間とウミガメの関係について考える】
終	今日の活動のふ	『こうやって ひろい ひろい うみ		

末	りかえり	<p>で、 うんよく たべられず おおきく そだった カメは、20年くらい いきる と ながさ1メートルいじょう おお きさも 100キロ以上になります。そして また 10,000キロ はなれた 日本にか えろうと およぎはじめます。』</p> <p>『1年くらいかかって日本に もどっ てきます。』</p> <p>「ウミガメのお母さんになって、子ども たちに手紙を書いてみましょう。」</p>	<p>何人か、ビデ オレターとい う形で発表し ても良い。</p>	
---	------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	--

6.学習指導要領との関連

本単元ではD「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の指導要項「生命の尊さ」(17) 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。副次的に「自然愛護」(18)身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。を受けて指導する。

絵本『ウミガメものがたり』を読み聞かせ、児童は、外部講師（俳優）と一緒に生まれたばかりのウミガメになりきって演じる。その中で児童は身近な人間生活の環境から大きな海の世界で生き残るために他の動物から逃げたり、助けられたりするウミガメの「生きる」姿を体験する。その上で、ウミガメや他の生き物に対してどんな気持ちを持つか考える。ウミガメ以外に自然に目にする動植物について「いのち」について考えるきっかけとし、「自然愛護」単元につなげる。